

ハグロトンボ1種のみが、武庫川伏流水の流れる水路で多数発生していた。

8 イトトンボ科、モノサシトンボ科、アオイトトンボ科

幾種類かはいたが、採集品はなく、確かな記録や記憶もない。

## シロヘリクチプトカメムシを西宮市内で採集

新 家 勝

*Andrallus spinidens* Fabricius シロヘリクチプトカメムシ

1990.7.11

西宮市枝川町

余り見掛けないカメムシが電燈に飛んで来たので、持帰って原色昆虫大図鑑（北隆館）で調べたところ、本邦での分布は南九州までとのこと。びっくりすると同時に図鑑は昭和48年版なので、既に近畿での採集記録があるかと思い、高橋寿郎氏にお尋ねした。氏がいろいろと文献を調べられたところ、1987. 8. 17 倉敷市鴨ヶ辻山の記録はあるが、兵庫県下では未記録であろうとのことなので、報告させていただくことにした

採集場所の西宮市枝川町は、浜甲子園の海岸べりで、付近には甲子園フェリーボートの発着場があり、今津港も遠くないところにあるので、船について来たものが採集されたという可能性がある。一方、神戸ポートアイランドにカメムシがよく集まるように、このあたりも移動するカメムシが通過したり、滞留したりしやすい場所かも知れない。

終りに、ご多忙中のところ本種について多くの文献をお調べいただき、いろいろとご教示いただきました高橋寿郎氏に厚くお礼を申し上げます。

（付記）上記倉敷からの記録は“すずむし、No.124:29,1990”に依る。新家 勝氏の記録は兵庫家初記録になると考えられる。四国からの記録も無かったが石田明儀氏は高知県から記録され(Rostria, No.35:438-439,1983)、本年9月12日送って来られた“げんせい(56):17-24,1990”には川沢哲夫氏はか四氏共著の“四国におけるクチプトカメムシ類の記録”が発表になりその中で本種は高知県では平地の畑や水田から発見されるとして多くの採集例を示され愛媛県の記録も含まれている。また広島

県八本松町原で水田から林 英明氏が1♀(25.VII.1984)採集していると記録されている。即ち本州の兵庫・岡山・広島県に分布している種ようである。

(高橋)

## 阪神間でのカミキリ 2 種の採集記録

新 家 勝

相当古い記録であるが、一方は白いカミキリ、もう一方は飛べないカミキリとして注目され、いずれも個体数が余り多くない種であるので、筆者の標本からデータを報告させていただく。

- (1) *Olenecamptus formosanus* Pic タカサゴシロカミキリ

1946.7.9 芦屋市西芦屋町

級友の寺條 勝君が、「きれいなカミキリを採ったのであげる」といつてくれたもの。

- (2) *Parechthistatus gibber* Bates ヒメコブヤハズカミキリ

1974.9.23 西宮市鷺林寺町

筆者の兄新家正俊が散策中に見つけ、変わったカミキリであったので、くれたもの。

## ホソオチョウ、神戸市東灘区で採集される

三 宅 隆 三

1990年8月25・26日、神戸生物クラブによる「植物・昆虫・海藻・貝・岩石などの作品鑑定会」が、神戸大丸百貨店東隣の日毛ビル6階ホールで催された。2日目(26日)にホソオチョウ *Sericinus montela koreana* Fixsen が持ち込まれた。関西地方では、はじめての記録ではないかと思われるので報告する。